

水稻病虫害防除農薬適用表

病虫害名		薬剤名	防除時期	成分数	使用方法	使用回数	防除にあたっての注意事項	
種子消毒	ばか苗病・苗いもち もみ枯細菌病	温湯消毒	浸種前	—	種籾を60℃の温湯に10分間浸漬し、直ちに流水で冷やす	—	専用の温湯処理機を使用する。	
	ばか苗病 苗いもち	テクリードCフロアブル	浸種前	2	200倍液に24時間浸漬(種子4kgに対し8L・40mℓ)	1回	風乾の有無にかかわらず効果がある。	
		ホーマイ水和剤		2	200倍液に24時間浸漬(種子4kgに対し8L・40mℓ)	1回	みのる式ではホーマイ水和剤を使用。消毒後、風乾する。	
苗箱施用	葉いもち イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	ブーンパディート箱粒剤	播種時(覆土前)～移植当日	2	1箱当たり50g(育苗箱の上から均一に散布する)	1回	病害虫同時防除	比重 : 0.95
		GPオリゼリディア箱粒剤	緑化期～移植当日	2	1箱当たり50g(育苗箱の上から均一に散布する)	1回	病害虫同時防除	比重 : 0.78
		デジタルメガフレア箱粒剤	移植前3日～移植当日	2	1箱当たり50g(育苗箱の上から均一に散布する)	1回	病害虫同時防除 カメムシへの残効は2ヶ月程度	比重 : 0.89
	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	ワンリード箱粒剤08	播種時(覆土前)～移植当日	1	1箱当たり50g(育苗箱の上から均一に散布する)	1回	害虫のみ防除	比重 : 1.09
		ゼロカウント粒剤	播種時(覆土前) 移植2日前～移植当日	1(0)※	1箱当たり50g(育苗箱の上から均一に散布する)	1回	害虫のみ防除 イネミズゾウムシは幼虫に効果あり	比重 : 0.99
ばか苗病・苗立枯細菌病 いもち病・もみ枯細菌病		タフブロック	催芽時	—	200倍液に24時間浸漬(種子4kgに対し8L・40mℓ)	—		
苗立枯病	タチガレエースM粉剤	播種前	2	1箱当たり6～8g(みのる式は4g)	1回	育苗箱土壌に均一に混和する。		
	タチガレエースM液剤	播種時又は発芽後	2	1箱当たり500～1,000倍を液500mlを土壌灌注する	1回			
	ナエファインフロアブル	播種時から緑化期	1	1箱当たり1,000～2,000倍を500mlを土壌灌注する	2回以内			
イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	なげこみトレボン	成虫飛来ピーク時 (本田処理5月下旬～6月上旬) 収穫21日前まで	1	4～6個/10a	3回以内	深水にして散布し、4日間は湛水状態を保つ。 薬剤に含まれる成分(油)によっては生理的障害に注意。		
カメムシ類	スタークル粒剤	出穂7～10日後 収穫7日前まで	1	3kg/10a 散布する	3回以内	ミツバチに注意し使用する。		
	スタークル豆つぶ		1	250g/10a 散布する	3回以内	豆つぶ製剤。ミツバチに注意し使用する。 深水3～5cm以上の状態で散布する。		
カメムシ類 ウンカ類	キラップ粒剤	出穂期 収穫14日前まで	1	3kg/10a 散布する	2回以内	ミツバチに注意し使用する。		
	キラップフロアブル	出穂10日後 収穫14日前まで	1	1,000～2,000倍液 60～200ℓ/10a 散布する	2回以内	ミツバチに注意し使用する。		
	ダントツ水溶剤	出穂10日後 収穫7日前まで	1	4,000倍液 60～150ℓ/10a 散布する	3回以内	ミツバチに注意し使用する。		
いもち病 紋枯病	オリブライト250G	発生10日前～10日後まで 出穂10日前まで 収穫45日前まで	1	250g /10a 散布する	1回	豆つぶ製剤。 深水5cm以上の状態で散布する。		
紋枯病	バリダシン粉剤DL	収穫14日前まで	1	3～4kg/10a 散布する	5回以内	株元、葉鞘部に対してもムラのないように全体に均一散布する。		
いもち病	オリゼメート粒剤	発病10日前～初発時 出穂3～4週間前 収穫14日前まで	1	3～4kg/10a 散布する	2回以内			
	コラトップ粒剤5	出穂30日前～5日前まで	1	3～4kg/10a 散布する	合計2回以内	投入後3～4日は湛水状態を保つ。		
	コラトップ豆つぶ		1	250～375g/10a				
	コラトップジャンボP		1	10～13個(パック)/10a 散布する				
	トライフロアブル	収穫14日前まで	1	1,000倍液 60～150ℓ/10a 散布する	2回以内			
	ビーム粉剤DL	発生初期 出穂後～穂ばらみ期 収穫7日前まで	1	3～4kg/10a 散布する	合計3回以内			
ビームゾル	1		1,000倍液 60～150ℓ/10a 散布する					
いもち病 稲こうじ病 内穎褐変病	ブラシン粉剤DL	発生初期 出穂直後～出穂期 収穫7日前まで	2	3～4kg/10a 散布する	合計2回以内	内穎褐変病は4kg/10a 散布する。		
	ブラシフロアブル		2	1,000倍液 60～150ℓ/10a 散布する				
いもち病・ウンカ類・カメムシ類	ワイドパンチ豆つぶ	収穫35日前まで	2	250g/10a 散布する	1回	ミツバチに注意し使用する。 豆つぶ製剤。深水5cm以上の状態で散布する。		

※ゼロカウント粒剤は成分数1ですが、成分カウントは0です。(構成成分のスピノサドはカウントしないため)